

駐日トルコ大使が支援に感謝

オンラインで生徒らに伝える



駐日トルコ共和国大使館のハサン・ムラット・メルジヤン特命全権大使は4日、オンライン会議システム「Zoom（ズーム）」で、新宮市立城南中学校（中田善夫校長）と中継をつなぎ、同校生徒会5人に対し「エーゲ海地震」の義援金への感謝を伝えた。

同地震は、昨年10月30日にエーゲ海を震源に発生したマグニチュード7・0の地震。余震も相次ぎ、トルコとギリシャで

100人以上が死亡し1000人以上が負傷した。

「何か世の中の役に立てる」と考えていた同校生徒会は、地震の発生を受け昨年12月初旬に募金箱を手作り。金額を訪問して募金を呼び掛けた。

生徒会は約1週間かけて1万1191円を集め、仁坂吉伸県知事と串本町の田嶋勝正町長が呼び掛け人となり募集していった「トルコ西部イズミル県における地震被害に

オンラインを通してメルジヤン大使と交流を図った

ハサン・ムラット・メルジヤン大使が支援に感謝

を伝えた

対する災害義援金募集の受け入れ口座に送金。入金手続きも生徒ら自らが行つたという。

中継では、メルジヤン

特命全権大使が募金をしようとと思った経緯などを生徒らに質問。エルトウルル号を通した和歌山県とトルコとのつながりや歴史について細かく説明し「和歌山県がトルコにとってどれだけ大事な場所か。今回のことでも感謝を込めていろんな人に伝えていきたい。いつかトルコに遊びに来て」と呼び掛けた。

生徒会会計の山中瑛斗君（2年）は「緊張したが（大使は）気さくに話してくれた。和歌山県とトルコの歴史について深く教えてもらつた。このことをばねにして生きていくべきだ」と話していた。

生徒会長の小口篤紀君（同）は、災害直後のトルコの様子について「建物の原形がなくなるくらいの被害にショックを受けた」と話していた。（西久保勢津子）

新宮市立城南中学校

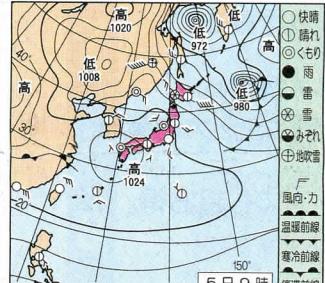
和歌山県南部

6日(土)の天気

雨の晴れ
予想気温
最高 15℃
最低 7℃

降水確率
0~6時 60%
6~12時 50%
12~18時 0%
18~24時 0%

(5日午前10時33分)
和歌山地方気象台発表



6日の
日出 6
満潮 1
月齢 23
週間
予報
降水確率